



2019年2月14日

各 位

会 社 名 日本精蠟株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長
社長執行役員 安藤 司
(コード番号 5010 東証第2部)
問 合 せ 先 取締役
執行役員総務部長 土屋 直紀
(TEL 03-3538-3061)

2018年12月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

本日公表の2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)決算短信の実績値が、2018年12月21日に公表しました業績予想に比較して差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2018年12月期通期業績予想と実績値との差異(2018年1月1日～2018年12月31日)
(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年12月21日発表)	29,700	300	200	130	7円11銭
実績値(B)	29,599	194	76	83	4円55銭
増減額(B-A)	△100	△105	△123	△46	—
増減率(%)	△0.3	△35.1	△61.5	△36.1	—
(ご参考)前期実績 (2017年12月期)	26,649	1,367	1,152	673	37円70銭

差異の理由

当社損益に大きく影響する原油相場は、第1四半期の60ドル前半/バレルから始まり一貫して上昇、10月には80ドル後半/バレルまで高騰しましたが、その後急激に下落し、最終的に60ドル/バレル程度となることを想定しておりましたが、実際には12月末に50ドル/バレルまで至りました。

このような状況下、原料、半製品、製品において想定以上の期末棚卸資産評価損を計上いたしました。

この結果、売上高29,599百万円(予想値29,700百万円)、営業利益194百万円(同300百万円)、経常利益76百万円(同200百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益83百万円(同130百万円)の実績となりました。これにより、実績値が前回(2018年12月21日)公表の業績予想値を下回り、開示基準に該当いたしました。

以上